

照陽の家だより



鬼は外!

2月3日に節分行事を行いました。今年も赤鬼が登場しましたが、利用者様の新聞玉パワーで厄を払って福を招くことが出来ました。大きな歓声が上がり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

福は内!



お出掛けに行きました♪ ★伯耆古代の丘公園 ★米子鬼太郎空港

古代の丘公園ではロウバイの花が見頃で、いい香りがあたり一面に漂っていました。空港では残念ながら飛行機は見れなかったのですが、展示物を見て楽しんで頂きました。



◎令和6年度 第5回 照陽の家 運営推進会議

令和7年1月17日(金)照陽の家お日様交流室におきまして米子市役所長寿社会課、米子市後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センターのご担当者、また自治会長、民生委員の皆様、職員の計10名で開催致しました。年始にあたり皆様よりご挨拶を頂き新年の抱負をお聞かせ頂きました。米子市からは4月に包括支援センターの担当地域や名称の変更があるとの連絡がありました。照陽の家は外部評価において従業員評価表を皆様にお渡しし確認をお願い致しました。次回は3月21日(金)を予定しています。



照陽の家には訪問看護ステーション ハートケアがあります。

私たち看護師がご自宅を訪問し看護ケア(皮膚のかぶれや発疹の予防、服薬管理、医療処置、栄養状態の観察、脱水予防、家族支援など)を提供し療養生活を支援します。その他、照陽の家内での利用者様の体調管理やお薬管理はもちろん、リハビリも行っています。不安なことがあれば、お気軽にご相談ください♡

こんにちは!
ハートケアです♡



介護レベルアップ研修(繰り返し学び・体験・振り返り)

① 認知症研修

認知症ケアの中で大切な事はまずその人を知る事・認知症の事を理解する事です。認知症の症状や特徴を理解しないままでは、適切な対応が出来ず、理解がないなかで誤った対応を取ってしまうと本人様は混乱や苛立ちや精神的ストレスに繋がってしまう恐れがあります。認知症の人ではなく一人の人として尊重し、その人の価値観、趣味、生活歴などを把握していく事で相手を知ることにつながり、その人を理解し、信頼関係を築くことに繋がっていきます。もし皆さんが認知症の方と接する事があればまずは笑顔でお話してあげてください。認知症の方にとって一番心地よい刺激は笑顔だそうです。一緒に楽しい時間を過ごし住み慣れた自宅で生活できるよう日々サポートしていきたいと思えます。

② 入浴介助

今月は入浴介助、機械浴槽の操作についての学びをしました。照陽の家には身体が不自由な方や寝たきりの方でも温かいお湯に浸かり、ゆっくりと温まることが出来る特別なお風呂があります。お湯も一回使用することによって捨て、浴槽を洗い、新しいお湯を張り、衛生にも気を付けています。ジャグジー機能も付いており、ご利用者様にも好評です!入浴介助では特にこの時期にはヒートショックなどの気温差に十分注意するため、浴室や着替えの部屋をエアコンやヒーターなどで十分に温め、寒さをなるべく感じさせないように注意します。またご自身で脱ぎ着ができる方には湯冷めに気を付けながらその場の状況を見ながらですが、必要最低限のお手伝いで対応しています。洋服が着やすいよう服の置き方、声をかけるタイミングなど最適な方法を職員で意見を出し合い、その人一人一人に合った対応の仕方ですスムーズに服の着替えから入浴までできるように学びを深めました。



③ 送迎手順の確認

職員同士で、送迎車の操作手順のやり方と確認を行いました。照陽の家には、福祉車両(大型)3台と軽自動車2台があります。今回は軽自動車のNBOXを使用して行いました。照陽では定期的に操作手順の振り返りを行っています。危険な所はないか、安全に操作出来ているのかなどを指導者に確認してもらっています。軽自動車は小回りが利き狭い道や狭い駐車スペースでも駐車できることから重宝しています。これからも様々な研修をおこない職員一同がスキルアップできるよう日々精進していきたいと思えます。

